

研究計画書

ゼミ名	柘植ゼミ II	チーム名	つげゼミ 貳
タイトル	Android VS iPhone		
テーマ群	a)理論・情報 e)産業・企業		
メンバー			
研究計画内容	<p>スマートフォンには大きく分けて 2 つの種類がある。1 つは Android スマートフォンである。こちらは電気機器メーカーによってそれぞれオリジナルのモデルが発売されている。もう 1 つはアップル社が発売している iPhone である。こちらはすべての携帯会社から発売されている。日本では 7 割の人が iPhone を使っている。大学内を見渡しても、iPhone ユーザーが多いと感じられる。では、なぜ Android よりも iPhone の方が人気があるのだろうか。それほどまでに 2 つのスマートフォンの機能に違いがあるのだろうか。このような疑問を持ったため、私たちは「日本で Android よりも iPhone の方が人気があるのはなぜか」というテーマで研究を行うことにした。</p> <p>本研究では、日本で Android よりも iPhone の方が人気があるのは、1) iPhone の方が機能の面で優れているから、2) Apple の方がブランド力があるから、の 2 つの仮説を立てて、それぞれの妥当性を検証する。そのために、本研究では独自のアンケート調査を実施する。アンケートでは、ベスト・ワースト・スケーリングという手法を用いて、人々がスマートフォンを購入する際にどのような点を重視しているかを明らかにする。この方法を用いることで、バッテリー稼働時間、画質、データ容量、デザイン、価格、ブランドなどのそれぞれが、スマートフォンの選択において、それぞれどの程度重視されているかを明らかにすることができる。この結果と Android や iPhone のスペックを見比べることで、2 つの仮説の妥当性を検証することができる。本研究では、ほぼ同時期に発売が開始されたサムスン社の galaxy note8 とアップル社の iPhoneX を事例として検証を行う。</p> <p>本研究により、日本人が iPhone を選択する理由が明らかになる。ここから、たとえば、Android が iPhone と競合するためにはどうすればいいかといった具体的な提案が可能になると考えられる。</p>		